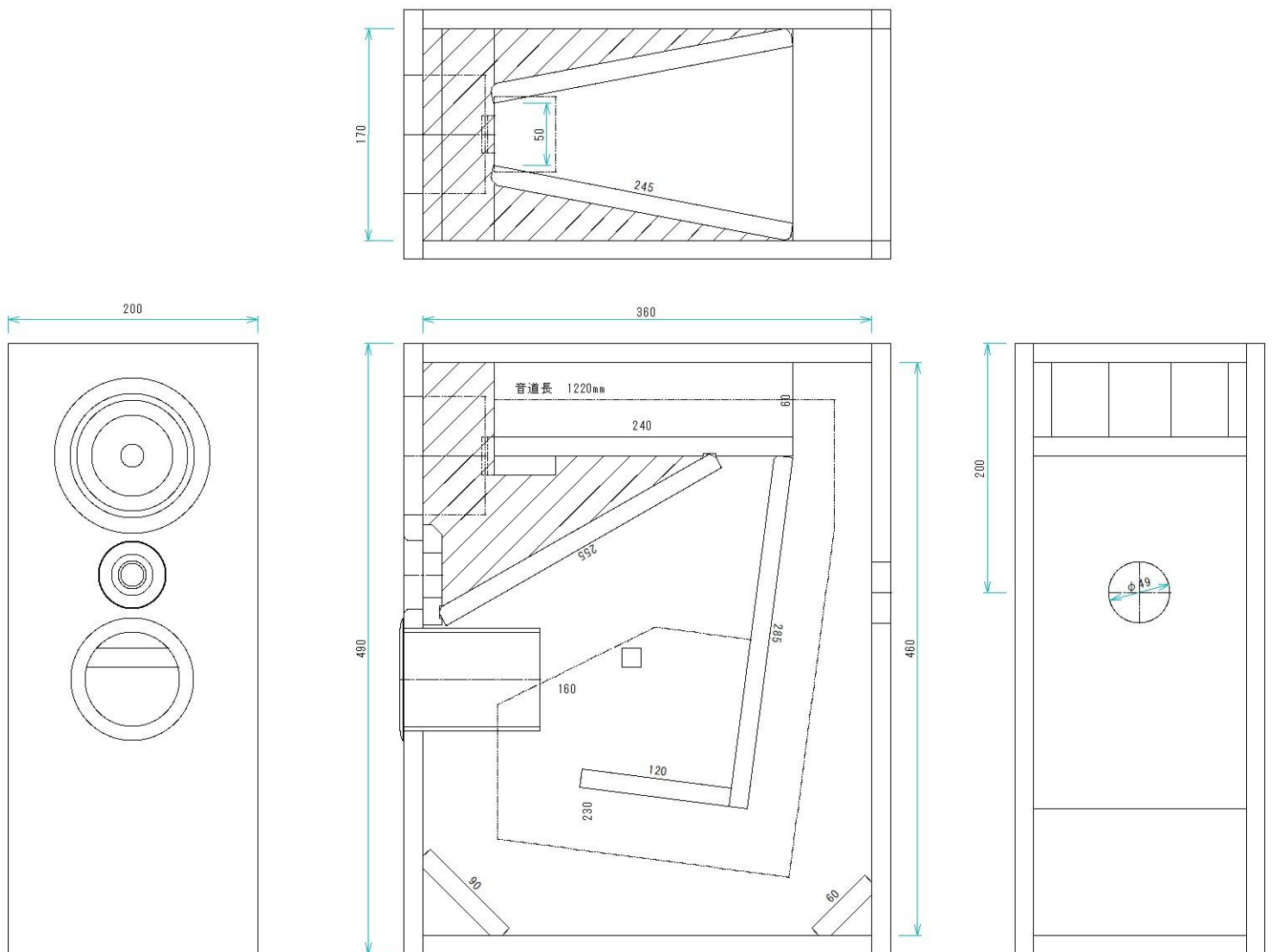


BHBSの実験 その2

石田さんが提唱するBHBSを適当・いい加減設計にて制作しました。

ポイント

- ①空気室が三角柱を三つ合わせた独特の形状(※下図の斜線部分)となり、定在波の抑制に 寄与している・・・かもしれません。
- ②ユニット後部とエンクロージャーを耐震ジェルマットで接続しています。振動抑制に寄与 している・・・かもしれません。
- ③ホーンの出口に当たる部分がどん詰まりの構造です。どうなるのでしょうか？
- ④ダクトの「気柱共鳴」対策として「逆共鳴管」を取り付けてみました。
※ダクト長の1/2の共鳴管で共鳴をキャンセル。
- ⑤中央にプラスツイーターを配置しました。ハイパスには市販品を使っています。



●エンクロージャー

全体容量:約28リットル 主気室:約1リットル

材料:合板15mm3×6板1枚 パイン材 450×600mm 1枚

ホーン長:約1.2m

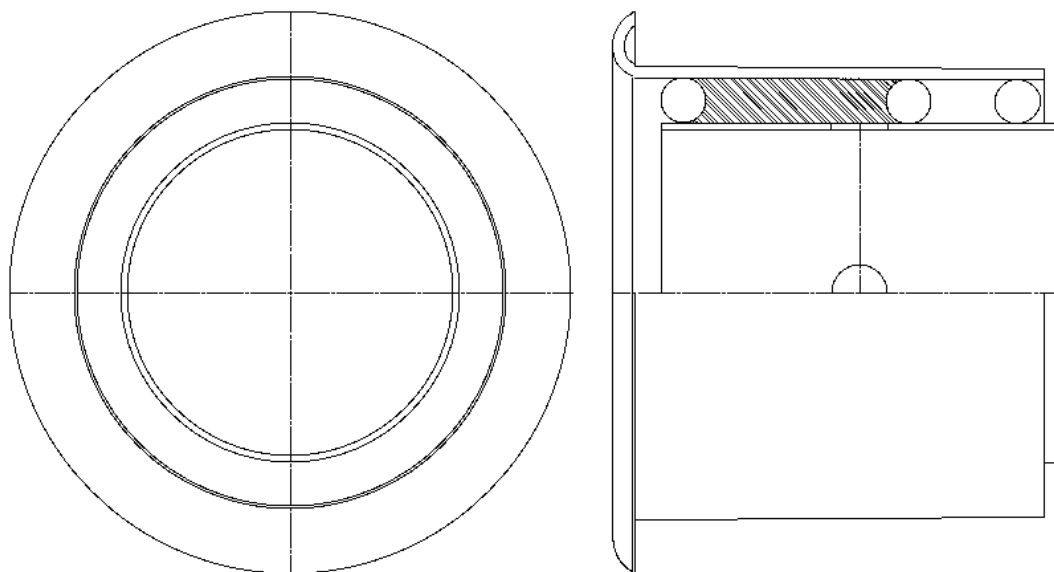
●ユニット(10cm)

パークオーディオ:DCU-121W $F_0 = 72.4 \text{ Hz}$

:DCU-114S $F_0 = 40K \text{ Hz}$

ハイパス:A&Cオーディオ アドオンネットワーク

●ダクト逆共鳴管



斜線部分に気室(ダクト長の1/2)を設けることでダクトの管共振をキャンセルするパイオニアのAFASTのパクリです。